



能
蟻
通
長島 茂

第272回
9.18日
12:30開演

殺
生
石

能
殺
生
石
女
体
大島 輝久

全席指定席

新型コロナウイルス対策のため
下記の事項にご理解、
ご協力をお願い致します

- 収容人数を減らして間隔を確保します
- 体調不良の方は入場をご遠慮ください
- 入場時に手指の洗浄をお願いします
- 館内ではマスクの着用をお願いします

令和4年 第3回 (通算272回)
大島能楽堂定期公演

主催・(有)榎木端

鑑賞券
一般券 6,000円
学生券 2,000円
招待券
+座席指定料 2,000円
+座席指定料 2,000円
+座席指定料 2,000円

狂言 太刀奪
茂山千五郎

主な出演者紹介

長島 茂



能楽師 シテ方喜多流戦分
国総合認定重要無形文化財
1959年生れ、東京都在住

大島 輝久



能楽師 シテ方喜多流戦分
国総合認定重要無形文化財
1976年生れ、東京都在住
能大島家5代目

福王 和幸



能楽師 ワキ方福王流
国総合認定重要無形文化財
1973年生れ、東京都在住

福王 知登



能楽師 ワキ方福王流
1981年生れ、兵庫県在住

森田 保美



能楽師 笛方森田流
国総合認定重要無形文化財
1963年生れ、京都府在住

吉阪 一郎



能楽師 小鼓方大倉流
国総合認定重要無形文化財
1965年生れ、京都府在住

河村 大



能楽師 大鼓方石井流
国総合認定重要無形文化財
1960年生れ、京都府在住

前川 光範



能楽師 大鼓方金春流
国総合認定重要無形文化財
1979年生れ、京都府在住

茂山 千五郎



能楽師 狂言方大蔵流
国総合認定重要無形文化財
1972年生れ、京都府在住

茂山 茂



能楽師 狂言方大蔵流
国総合認定重要無形文化財
1975年生れ、京都府在住

島田 洋海



能楽師 狂言方大蔵流
1976年生れ、京都府在住

定期公演
のご案内
第273回 11月20日(日)
能「清経」……松井 彬
狂言「茶壺」……茂山 茂
能「雷電」……大島 衣恵

2023年 定期公演
予定
第274回 4月23日(日)
第275回 6月18日(日)
第276回 9月17日(日)
第277回 11月19日(日)

大島家三代能

と き：2023年1月29日(日)
と ころ：喜多流大島能楽堂

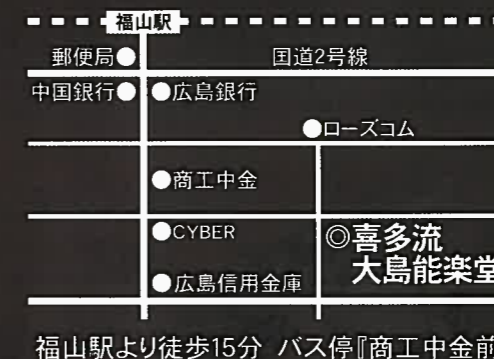
能「籠」……大島 伊織
狂言「萩大名」……山本 東次郎
能「西行桜」……大島 政允
能「二人乱」……大島 輝久 大島 衣恵

喜多流大島能楽堂

広島県福山市光南町2-2-2
TEL.084-923-2633
FAX.084-923-2633
osimano@orange.ocn.ne.jp
www.noh-oshima.com



後援
広島県教育委員会
福山市
福山文化連盟



お得な鑑賞券 年間共通四枚綴 ¥20,000
年4回公演のチケットを一括でお求めになると¥4,000お得です。
複数のご利用にもお使いいただけます。

令和四年第三回(通算二七二回)
大島能楽堂定期公演

九月十八日(日)十二時半始
喜多流大島能楽堂

解説

能 蟻 通

シテ(官人) 長島 茂
ワキツレ(従者) 是川 正彦
ワキ(紀貫之) 福王 和幸
ワキツレ(従者) 喜多 雅人

大鼓 河村 大 太鼓 前川 光範
小鼓 吉阪 一郎 笛 森田 保美

休憩十五分

狂言 太刀奪

シテ(太郎冠者) 茂山 千五郎

アド(主人) 茂山 茂
アド(道通り) 島田 洋海

後見 山下 守之

休憩十分

解説

能 殺生石

シテ(後・妖狐の霊) 大島 輝久
前・里 女

ワキ(玄翁道人) 福王 知登

大鼓 河村 大 太鼓 前川 光範
小鼓 吉阪 一郎 笛 森田 保美

間(能力) 山下 守之

付祝言

終了予定 四時頃

 福山市神村町 3550-1 TEL 084-934-6615	秋山クリニック 広島市安佐南区大町東 2-12-24 TEL 082-870-3322
 福山市赤坂町赤坂1276 TEL 084-952-4000	 SRホールディングス
 福山市曙町 1-3-17 TEL 084-953-1650	製鐵原料株式会社 尾道市正徳町 29-14 TEL 0848-23-4560
 福山市大門町 5-6-35 TEL 084-941-3111	 福山市霞町1-1-1 福山信愛ビル8F TEL 084-922-1537
 福山市卸町4-15 TEL 084-953-6116	 広島市西区商工センター 8-9-30 TEL 082-277-5021
 福山市田尻町 4115 TEL 084-983-5888	表現工房 言光舎 名古屋市緑区鳴海町
 広島市南区大洲 4-10-11 TEL 082-286-2328	 福山市草戸町 1-23-21 TEL 084-921-2751
 福山市川口町 2-3-4 TEL 084-953-0343	 福山市宝町 5-32 TEL 084-923-0385
 ESTABLISHED IN 1973 TEL 084-955-8624	 ロアール元町店 TEL 084-932-2633

曲目解説

蟻通 ありどおし

紀貫之が、玉津島明神への参詣のため旅をしていると、和泉国で、突然雨が降って闇夜になります。馬まで倒れたので困っていると、傘を差し松明を持った宮守の老人が現れます。宮守は「馬を下りなかつたせいです。ここは蟻通の明神という、物咎めをする神のおわす所なのです」と教え、松明で森の中の社殿を照らしてみせ、和歌を捧げるよう勧めます。貫之は「雨雲の立重なれる夜半なればありとほしとも思ふべきかは」と詠じます。宮守は感嘆し、和歌の道を讀めます。馬が回復し、貫之が畏敬の念に打たれて祝詞を上げるよう頼むと、宮守は神楽を舞い「貫之の心に感動して、神が仮に姿を見せてたのだ」と正体を明かし、夜明け前に鳥居の陰に消えてゆきます。中人の無い古風な形を残し、シテの扮装も独特で、神秘的な趣のある曲です。



太刀奪 たらばい

北野神社に参詣に向かう主人と太郎冠者。道中、見事な太刀を持った男を見つめます。冠者は、太刀を持たない主人のために奪い取ろうとしますが、反対に、主人の腰刀を取られてしまいます。主人は刀を取り戻そうと、帰り道で男を待ち伏せしますが。

殺生石 女体 せつしょうせきによたい

下野国那須野が原を、玄翁という禅僧が通りかかり、ある石の上を飛んだ鳥が、死んで落ちることに気づきます。近づこうとすると、女が現れて制止し「それは殺生石といって、妖狐の亡魂が化したものです。玉藻の前という美女に化けて帝の寵愛を得、正体を見破られてここで死んだのです」と教え、石の中に姿を消します。その夜、石が真二つに割れて妖狐の霊が現れ、懺悔します。その狐は、実はインドや中国でも美妃となつて国を乱した者でした。宮中から飛び去つて那須野に隠れ棲んだものの、大軍に狩られて射殺され、執心が石と化して、長年の間近づく者を殺していたのです。しかし、玄翁に引導を渡され、悪事を止めると約束します。今回は小書(特殊演出)により、後シテは妖艶さを際立たせる女体姿で演じます。

